

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会事務局発行
 第四号 発行日平成十七年四月一日
 甲府市北口一丁目一九
 甲府地方方法務局人権擁護課内

真剣な討議、深まる研修

県連第二回目の研修が二月四日に、峡南及び甲府協議会の研修会が、峡南は二月十八、十九日、甲府は二十五日に開催された。

県連の研修会では「親子関係について」「借金について」の二つの事例をもとに、三つの分科会に分かれて討議。実際に死に面した相談者を救った体験談なども出され、会は大盛り上がりを見せた。活発な意見交換や体験発表の中に、深刻化する社会問題・複雑化する相談内容が取り上げられて、それに対する委員諸氏の熱意と真剣さを感じられた。

峡南協議会では、「高齢者虐待への対処と予防について」の講演、各種研修会の参加報告、県連委員会報告等を軸に、二日間にわたって研修が行われた。県連総務委員会報告では、沿革・任務・会議の

自主運営三年目へ

県連事務局長 土肥 豊

二年前、県連では自主運営移行にあたり、三委員会と事務局を立ち上げた。

この間、体制確立のための組織見直し、総会の工夫、人権パレードの実施、毎回百人を超える参加者がある自主研修、自治体主催の男女共同参画事業への参画など、委員会は活発に活動している。

そして事務局は、組織体運営の潤滑油たるべく努めて、初期の期待に概ね応えられたことが嬉しい。ただ、最近話題の人権法案を考えると、課題は大きい。人権擁護委員の責任が重くなり、自主運

営が強化される方向へ進むことが予想される。

自主運営のあり方を考えると、それは、自立ではなく、担当行政機関との車の両輪を目指すべきではないかと思えてならない。双方がそれぞれの責任をもって連携してゆくことが必要ではないか。

また、人権擁護委員としての責任を考えると、委員としての使命感をきつちりともっていないければとまらない。自分自身、これまで組織体運営を主に行動してきたが、この際、原点に帰って、「人権擁護委員の手引き」を熟読したい。

合併後における南アルプスGの動き

金丸 一

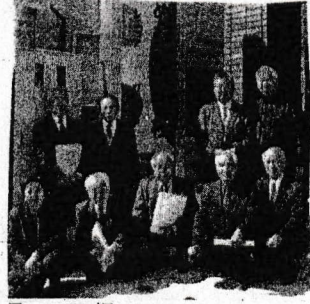
人権擁護委員としての役割の重みを感じながら、自分に自分が何を仕掛けたらよいか、こんな思いが交差する中で、一昨年の四月には南アルプス市誕生となった。かねてより、地元における人権活動は与えられた使命であると理解していたので、新市誕生を機に市側と話し合ったところ、理解を得て予算付けされ、昨年は市内二中学校で人権の講話を開催することが出来た。

県連事業の人権作文コンテスト、全国一斉の特設相談、人権週間行事にも、市は全面的に協力、応援してくれている。また、地元行政が主催するサマーフェスティバル心配ごと相談、前述の人権講話には市が予算を計上するなど、地元行政との関わりは更に深まっている。広報活動においては、地元のCATVを活用するなど、新たな道づくりが始まっている。この好機を大切に、今後の活動の一層の強化を図っていきたい。

宿泊研修会実施

玉穂、昭和、田富G

三月七日、八日、昭和、田富、豊富、玉穂のグループの研修会が一泊二日の日程で行われた。一日目は甲府市にある県立の中央児童相談所を見学した。



見学した。

学校へ配布

冊子「種を蒔こう」

都留人権擁護委員協議会の全委員は、管内五十六の小学校を手分けて訪問し、「種を蒔こう」を配付した。はじめ、不登校、児童虐待など子どもの人権問題が大きき社会問題となっている昨今、「人権」の必要性を訴える校長先生方の多いことに驚いた。

早速、道徳や学級活動等の授業に活用していただき、友だちを冷やかしたり、いじめたりしたことやかたじけなく、ひとりでもルールを守らないときれいな桂川がゴミの山になってしまう、などの感想文が送られてきた。

小学校低学年の子どもたちが「人権」について懸命に考えている姿が目につくか、心の教育の一助になれば、と委員一同喜びを実感した。

(大月市人権擁護委員 小笠原和子)

退任された委員の方々

平成十六年十二月から平成十七年三月までに、次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に心から敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。(敬称は略させていただきます。)

- 中川武國 橋田禮子(甲府市) 渡辺貞和(中道町) 荻原桂子(勝沼町) 北村誠(南アルプス市) 望月正雄(水野忠男(早川町) 川崎敏子 鈴木智(身延町) 渡邊恭二(都留市) 長田慶子(山中湖村) 小宮山政子 保坂喜政(甲斐市) 小林元久 浅川露子 平井真弓(北杜市) 茂手木政弘(笛吹市)
- なお、佐野規夫委員(南部町)は二月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

県連総会のお知らせ

平成十七年度の県ネット講演会及び県連総会が左記のように開催されます。

日時 五月十九日(木)
 午前十時半

場所 甲府市

ベルクラシック
 午前中の講演会の講師は、国連改革地域担当大使の中山恭子氏。昼食を兼ねて懇親会を持ち、胡弓と琴の演奏を楽しみ、午後総会となります。

「道徳」の授業を見て
 山本 彦仁
 人権研修会で見たアニメ映画は、先生と友だちがいて見ると見ると、振り回されたために起きた一つの事件を扱ったドラマでした。

先日、道徳教育の授業参観に出席したところ、「他人のことはかまわず、自分の安全を考えると」授業でした。少しおかしかったですね。また、道徳を非常に消極的に遠慮しながら教えていました。驚きです。

事務局から

各協議会の総会日程は次のようになっております。

都留 四月十九日(火)
 甲府 四月二十一日(木)
 峡南 四月二十六日(火)

準備へのご協力、当日のご参加をよろしく願っています。

編集後記

昨年七月に「結い」を創刊して、試行錯誤しつつ、四号までできました。失敗もあり、委員の皆様にご迷惑をおかけしたことを改めてお詫言申しあげます。拙劣さをも、さまでとがめず、あたたく励ましてくださったことを感謝しております。今後ともよろしくお願いたします。